



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月2日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3632 URL <http://corp.gree.net/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 秋山 仁 TEL 03-5770-9500
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	30,255	△19.2	4,044	△51.8	6,334	△25.6	12,703	157.3
28年6月期第2四半期	37,436	△24.4	8,385	△24.5	8,512	△43.5	4,937	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 10,320百万円 (119.5%) 28年6月期第2四半期 4,701百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	54.16	53.98
28年6月期第2四半期	21.12	21.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	126,406	111,169	87.8
28年6月期	112,370	102,604	91.2

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 110,947百万円 28年6月期 102,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年6月期の配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	45,600	△15.9	5,200	△56.7	7,500	△32.4	13,000	104.1	55.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

(注) 平成29年6月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名）Fantasy Legend Studios, Inc. (旧PerBlue, Inc.)

除外 1社 （社名）GREE International, Inc.

(注) Fantasy Legend Studios, Inc. (旧PerBlue, Inc.) は、取得時点では特定子会社に該当しておりましたが、当四半期連結会計期間末においては、特定子会社ではなくなっております。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期2Q	241,850,000株	28年6月期	241,463,300株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	6,940,703株	28年6月期	7,008,298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期2Q	234,541,373株	28年6月期2Q	233,829,357株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（29年6月期第2四半期：1,014,525株、28年6月期：1,082,120株）を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関して

上記の予想は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付書類）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 配当予想金額に関して

平成29年6月期の配当金額は未定であります。決定次第速やかに開示致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、国内外におけるスマートフォン市場のさらなる拡大が予測され、特に国内市場における情報通信機器の普及状況（世帯）については、携帯電話の保有率が95.8%であり、そのうちスマートフォンの保有率は前年比7.8ポイント増の72.0%となりました。タブレット型端末の保有率においても前年比7.0ポイント増の33.3%と普及が進みました（総務省「平成27年通信利用動向調査の結果」）。

このような事業環境の下、業績回復を図るべくこれまでスマートフォン向けゲームアプリ（以下、「ネイティブゲーム」）の開発に注力し、当社グループは当連結会計年度を「リリースラッシュ」の一年と位置付け、当第2四半期連結累計期間において新規タイトル2本をリリース致しました。また当期リリース予定の複数タイトルの開発が進捗したことに加え、既存タイトル1本をアップデートし公開致しました。海外ではタイトル1本を取得しましたが、有力タイトルの売却および既存タイトルの減衰もあり、ネイティブゲームのコイン消費は前年同期比で減少致しました。また利益率の高いウェブゲームのコイン消費も前年同期比で減少致しました。

なお、当第2四半期連結累計期間において為替相場が円安に推移したことにより為替差益を計上致しました。また、子会社株式の譲渡に伴い過去に計上した関係会社評価損や貸倒引当金繰入額が税務上認容される見込みとなり、法人税等が減少致しました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高30,255百万円（前年同期比19.2%減）、営業利益4,044百万円（同51.8%減）となりました。また当第2四半期連結累計期間において為替相場が円安に推移したことによる為替差益の計上等の理由により経常利益6,334百万円（同25.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,703百万円（同157.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は126,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,035百万円増加致しました。流動資産は101,132百万円（前連結会計年度末比6,446百万円増）となり、主な増加要因は、「現金及び預金」及び「その他」がそれぞれ1,998百万円、4,275百万円増加したことによるものであります。固定資産は25,274百万円（同7,589百万円増）となり、主な増加要因は、「のれん」及び「投資有価証券」並びに無形固定資産の「その他」がそれぞれ1,891百万円、3,083百万円、2,765百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては15,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,470百万円増加致しました。流動負債は13,788百万円（同4,393百万円増）となり、主な増加要因は「未払法人税等」が4,047百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,448百万円（同1,077百万円増）となり、主な増加要因は「その他」が1,102百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、111,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,565百万円増加致しました。主な増加要因は、「為替換算調整勘定」の減少額2,885百万円があったものの、「利益剰余金」が10,783百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末91.2%に対し、当第2四半期連結会計期間末は87.8%と3.4ポイント減少しております。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末1,007.8%に対し、当第2四半期連結会計期間末は733.4%と274.4ポイント減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ1,998百万円増加し、残高は82,188百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、8,043百万円（前年同期比151.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9,098百万円に対して為替換算調整勘定取崩益2,028百万円、為替差益1,119百万円、未払金の減少1,248百万円があった一方、法人税等の還付額3,202百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、4,832百万円（前年同期比348.0%増）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,980百万円、投資有価証券の取得による支出2,181百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,863百万円(前年同期比52.1%減)となりました。これは主に、配当金の支払額1,872百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく事業環境については、スマートフォンの世界的な普及に伴いモバイルゲーム市場が更なる成長期を迎えると考えております。

当社グループは、引き続きモバイル向けのコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大及び収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。また、生産性及び効率性を重視した経営基盤の強化にも取り組んでいく計画であります。

連結業績見通しにつきましては、平成29年6月期第2四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向を踏まえ、平成29年6月期第3四半期(累計)の売上高45,600百万円、営業利益5,200百万円、経常利益7,500百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益13,000百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、GREE International, Inc.は保有株式売却により、連結の範囲から除いております。

当第2四半期連結会計期間において、Fantasy Legend Studios, Inc.(旧PerBlue, Inc.)(以下、「FLS」)は株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、当第2四半期連結会計期間末においては、FLSは特定子会社ではなくなっております。これは、FLSの株式取得においては、米国デラウェア州会社法の規定に従い、FLSを存続会社、当社の連結子会社であるGREE International Entertainment, Inc.が合併のために設立した新会社Parrot Merger, Inc.を消滅会社とする、現金を対価とした「逆三角合併」方式を採用したことによるものであります。

また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、GREE International Entertainment, Inc.は新たに設立したため、スマートシッター株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、Funzio, Inc.はGREE International, Inc.に吸収合併されたため、GREE Korea Inc.は清算終了したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,190	82,188
売掛金	5,387	5,513
未収入金	2,527	2,239
その他	6,949	11,225
貸倒引当金	△369	△35
流動資産合計	94,685	101,132
固定資産		
有形固定資産	1,039	1,134
無形固定資産		
のれん	287	2,178
その他	692	3,457
無形固定資産合計	980	5,636
投資その他の資産		
投資有価証券	12,564	15,647
その他	3,479	3,089
貸倒引当金	△377	△232
投資その他の資産合計	15,665	18,503
固定資産合計	17,685	25,274
資産合計	112,370	126,406
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	5	4,053
賞与引当金	591	771
未払金	7,212	6,629
その他	1,585	2,334
流動負債合計	9,394	13,788
固定負債		
長期借入金	25	-
その他	346	1,448
固定負債合計	371	1,448
負債合計	9,766	15,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,306	2,318
資本剰余金	2,304	2,316
利益剰余金	101,363	112,147
自己株式	△6,535	△6,446
株主資本合計	99,438	110,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	784	1,286
為替換算調整勘定	2,209	△675
その他の包括利益累計額合計	2,993	611
新株予約権	172	221
純資産合計	102,604	111,169
負債純資産合計	112,370	126,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	37,436	30,255
売上原価	9,815	9,596
売上総利益	27,621	20,658
販売費及び一般管理費	19,235	16,614
営業利益	8,385	4,044
営業外収益		
受取利息	16	6
為替差益	-	1,770
投資事業組合運用益	624	-
その他	70	544
営業外収益合計	711	2,321
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	378	-
投資事業組合運用損	-	27
貸倒引当金繰入額	188	-
その他	15	2
営業外費用合計	585	31
経常利益	8,512	6,334
特別利益		
投資有価証券売却益	166	50
関係会社株式売却益	-	626
為替換算調整勘定取崩益	-	2,028
その他	8	146
特別利益合計	174	2,851
特別損失		
固定資産除却損	29	13
投資有価証券評価損	271	75
特別損失合計	301	88
税金等調整前四半期純利益	8,385	9,098
法人税等	3,447	△3,604
四半期純利益	4,937	12,703
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,937	12,703

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	4,937	12,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△413	502
繰延ヘッジ損益	18	-
為替換算調整勘定	158	△2,885
その他の包括利益合計	△236	△2,382
四半期包括利益	4,701	10,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,701	10,320
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,385	9,098
減価償却費	473	518
のれん償却額	249	217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	338	△507
賞与引当金の増減額(△は減少)	274	161
投資有価証券売却損益(△は益)	△166	△50
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△626
投資有価証券評価損益(△は益)	271	75
投資事業組合運用損益(△は益)	△624	27
為替差損益(△は益)	247	△1,119
受取利息及び受取配当金	△32	△11
支払利息	2	0
為替換算調整勘定取崩益	-	△2,028
売上債権の増減額(△は増加)	1,661	138
未収入金の増減額(△は増加)	1,712	599
未払金の増減額(△は減少)	△1,532	△1,248
その他	△122	△408
小計	11,140	4,835
利息及び配当金の受取額	28	6
利息の支払額	△3	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,967	3,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,197	8,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600	-
有形固定資産の取得による支出	△50	△108
無形固定資産の取得による支出	△23	△5
投資有価証券の取得による支出	△1,267	△2,181
投資有価証券の売却による収入	354	85
投資事業組合からの分配による収入	-	277
短期貸付けによる支出	△190	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△369	△2,980
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	360
その他	△132	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,078	△4,832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,638	△25
配当金の支払額	△2,329	△1,872
自己株式の売却による収入	66	27
その他	11	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,889	△1,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	637
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,862	1,984
現金及び現金同等物の期首残高	79,060	80,190
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72	14
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,269	82,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

取得による企業結合

当社は、平成29年2月2日開催の取締役会において、株式会社3ミニッツの発行済株式の100%を取得し、子会社化することを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社3ミニッツ

事業の内容 広告事業、メディア事業、コマース事業

(2) 企業結合を行う主な理由

当社グループは「インターネットを通じて、世界をより良くする。」をミッションに掲げ、ゲーム事業に加えて、新たな収益の柱となる事業を育成すべく、インターネット領域におけるプラットフォーム事業を展開しております。これまで、コマース・ライフスタイル事業として住まい、ヘルスケアの2つの領域での個人のお客様と事業者を繋ぐプラットフォームサービスと、広告・動画事業としてスマートフォン向けアドネットワークや動画制作サービスを展開してまいりました。

この度の株式の取得により、当社グループの持つインターネット事業に精通した人材と安定した財務基盤といった経営資源を株式会社3ミニッツに投入することで、動画広告市場において更なる成長を実現できると判断し子会社化することを決議いたしました。

(3) 企業結合日

平成29年2月9日(予定)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社3ミニッツ

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価(現金) 約4,300百万円

3. 発生するのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。